

団いやま森の会 活動記録 (第198回)

2012.1.7 野口 功

日 時：2012.1.7 (土) 10時～11時半 天気：快晴

参加者：赤石、井口、池田、高鳥、野口、馬場、山口 7名

あけましておめでとうございます。7日は、まだ松の内なのでお休みと思っていましたが、新年早々、みなさん集まりました。連絡不行き届きで申し訳ありませんでした。そんなことで、森の観察とおしゃべりで過ごしました。

イベント広場は、北風もさえぎられ、暖かな日差しがふりそいで、とても心地よいひと時でした。頭上にはイヌシデの果穂が鈴なりで、風が吹くと葉状の果苞がいっせいにクルクル回りながら散る様は、とても愛らしいものです。地上には、一面にヒメオドリコソウが芽をだし、早くもオオイヌノフグリの花がいくつか開花していました。

2年前に植菌したナメコもいくつか収穫。ハリギリの丸太にはヒラタケがたくさんでていました。木々の冬芽はまだ固いですが、樹上にはシジュウカラが元気に飛び交っています。

細々ですが、ことしも楽しく活動を続けたいと思いますので、よろしくお願ひします。

連絡事項：

1) 次回活動日 1月 17 日 (火)

2) 秋山の森

次回活動日 1月 18 日 (水) 作業後、森で新年会。どうぞご参加ください。



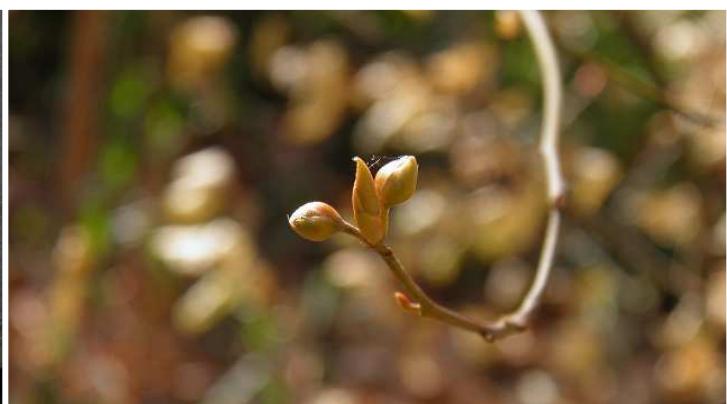
南向きのイベント広場



オオイヌノフグリ



ヒラタケとナメコ



クロモジ

囲いやま森の会 活動記録 (第199回)

2012.1.19 野口 功

日 時：2012.1.17 (土) 10時～13時 天気：快晴

参加者：赤石、新井、木村、高鳥、野口、馬場、山口、山野辺

8名

冬の森は、樹冠が透けて青空が望まれ、明るく気持ちがよい空間です。

葉が落ちている間に、危険木、不要木の伐採を進めます。

活動報告：

スギの枯れ木を1本伐採しました。径40cm、高さ16.6m。

- 1) はしごをかけて、6m位の所に牽引ロープをかけてから、チェーンソーで伐採。
- 2) 20度くらい傾いたところで、イヌシデの枝にかかった。
- 3) 切り離して落としたが離れず、柔らかい地面に刺さった。手前に切り株があつて引けず。
- 4) やむを得ず、ロープ2本で支持してから、再度、地上1mで斜めに切断。チェーンソーの長さが足りないので、左右を切り落としてから切断し、コンパネの上に落とした。
- 5) チルホールで牽引。ある程度引いた所で、木の元が地面から浮いた。
- 6) チルホールで牽引したまま、木回しで回し、掛かった枯枝を何本かはずした。
- 7) 2本の鳶口で木の元を調整しつつ、チルホールで牽引、引き落とした。
- 8) 枝を刈り払って、今日の作業は終了。

二輪車の修理 (高鳥さん)

道路のごみ収集 (新井さん)



観察報告：

オオイヌノフグリ開花。シュンランの花芽が膨らんでいる。ジャノヒゲの実がまだついている。

ウグイスの地鳴き。コジュケイ4～5羽が飛び立った。シロハラ4羽。ドバトの羽が散乱。

報告事項：

- 1) 12/27 放射線濃度を測定しました (地上1m。単位 $\mu\text{Sv}/\text{時}$)
北側道路 0.261、入口広場 0.293、入口広場からの通路 0.291、倉庫前広場 0.311
西側通路 0.297、中央刈払い区域 0.293、南側広場 0.276、ロープ囲い区域 0.287
なめこホダ木 0.285、イベント広場 0.283、熊野神社との間の草叢 0.343
笹藪の中 0.274、刈り枝堆積穴 0.325、東側森の中 0.287、落ち葉プール 0.313
市の基準値 0.23 よりやや高め。草叢や落ち葉・刈枝を積んだ所が少し高い。
- 2) 松戸市の第1回景観表彰の活動部門で、里山保全活動が景観大賞を受賞しました。

連絡事項：

- 1) 次回活動日 2月4日 (土)
- 2) 新井さんがフジテレビの連続ドラマ「ハングリー」に出演しています。
毎週火曜日午後10時、8ch。お店の常連老人客の役です。



囲いやま森の会 活動記録（第200回）

2012.2.7 野口 功

日 時：2012.2.4（土）10時～12時 天気：快晴
参加者：赤石、新井、井口、池田、野口、三嶋、山口、山野辺

8名

2005年1月20日に、里やまボランティア入門講座を終了後の第1回交流会を開いたのを皮切りに、7年余りで200回目となりました（打ち合わせなどは除く）。

この間、活動参加会員は延べ1644人、会員外の参加者・訪問者は737人を数えました。
「継続は力なり」みどりを守る担い手として、よく続いていると思います。

活動報告：

イベント広場への斜面にかかる枯れ木2本を伐採した。径25cm、樹種不明（エゴノキ？）。

- 1) 1本は高さ3m位で折れているので、そのまま伐採。
- 2) 2本目は、まず、はしご上で太い枝を2本、手鋸で切り落とし。
- 3) そのまま切り倒すと、下のイベント広場に伸びているイヌザクラの大枝を折ってしまう恐れがあったので、ロープで固定して伐採した。
- 4) 倒れかかったシラカシの太枝を切断。
- 5) 上部がコナラの枝に藤ヅルでつながって宙吊り状態になったので、元を切り離し、木を回してがけ下に落とした。
- 6) 玉切り、枝落としをして片付け。

コナラの枝から下がった藤ヅルでターザンごっこ。

連絡事項：

- 1) 次回活動日 2月21日（火）
- 2) オープンフォレスト関係

オープニング式典：5月12日（土）10時～11時半、21世紀の森と広場パークセンター

囲いやまの森公開：5月13日（日）、15日（火・定例活動日）、19日（土）10時～15時

森めぐりツアーカー来森：5月12日（土）午後

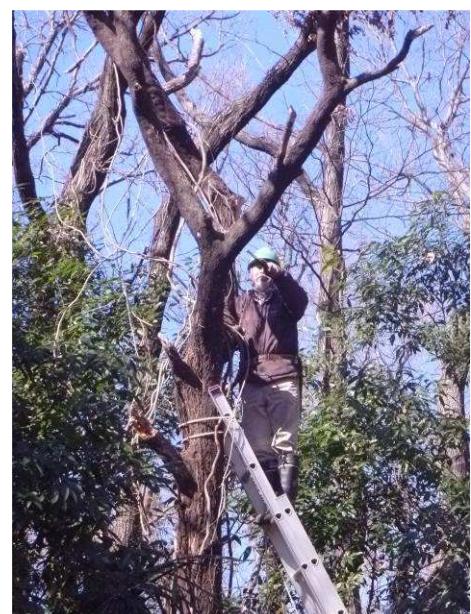
展示場当番：5月13日（日）10時～15時 パークセンター



伐採前



1本目の伐採



2本目の枝切り落し



シラカシに倒れ掛けた
(下はイヌザクラの大枝)



完了



伐採木の片付け



クロモジの花芽と葉目



ムラサキシキブの冬芽と紫色の冬芽と紫色の残る実



サワラに一列に開いたコゲラの穴



藤ツルでターザンごっこ

団いやま森の会 活動記録（第201回）

2012.2.26 野口 功

日 時：2012.2.21（火）10時～12時 天気：晴

参加者：赤石、池田、木村、高鳥、西澤、野口、馬場、山口、山野辺 9名

春の萌しを感じる暖かい日和でした。小鳥たちも元気に活動しています。

活動報告：スギを2本伐倒しました。

1. 高さ3mで折れて、上部が別の木に倒れかかっていた枯スギの伐倒
 - (1) 折れた位置にロープをかけ、倒れているのとは反対方向にロープを伸ばす
 - (2) チェーンソーで根元を受け口、追い口切り
 - (3) ロープで牽引して倒す
 - (4) 伐倒木の処理
2. 溝腐れ病のスギの伐倒（樹高19.5m、胸高直径40cm、樹齢80年）
 - (1) ロープを、右前方のスギ→伐倒木の滑車→左前方のチルホールのワイヤーに接続
 - (2) チェーンソーで根元を受け口、追い口切り
 - (3) チルホールで引いて倒す

伐倒木に滑車をつけて伐倒するのは初めて。うまくいった。
3. 伐倒したスギで一本橋をつくる
 - (1) 溝腐れ部分を切除
 - (2) 切り株をUカット
 - (3) 切り株にコンパネを斜めにかけ、チルホールで伐倒木の端を切り株の上に引き上げる
 - (4) 伐倒木を持ち上げてコンパネを取り除き、切り株の上に設置
 - (5) 切除した部分で枕木を作り、伐倒木の反対の端を載せる

観察報告：

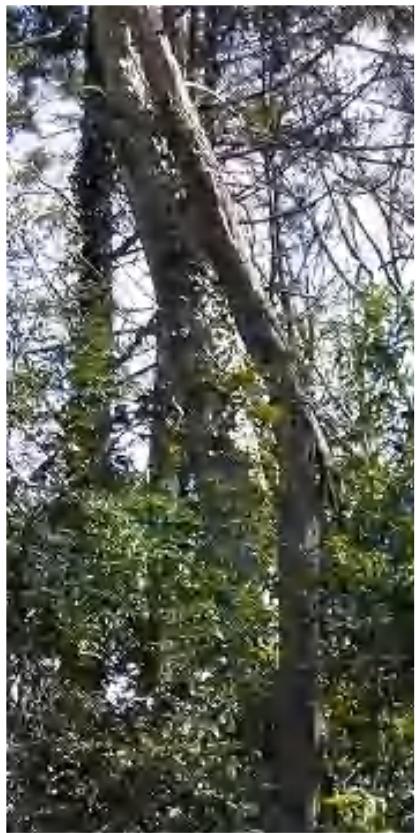
倉庫前の広場のすぐ目の前で、
コゲラが2羽が盛んに木を突ついていた。
シジュウカラ、メジロ、コジュケイ、
ウグイス（地鳴き）、エナガ
テントウムシ
オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、
シュンラン（花芽）



シュンランの花芽

連絡事項：

- 1) 次回活動日3月3日（土）
9期のメンバーが7人、作業体験に参加されます。
- 2) オープンフォレスト関係
21世紀の森と広場パークセンター2階での展示作品を募集しています。
別紙募集をご覧になって、積極的に応募してください。
応募作品は3月中に第一次登録をしますので、ご連絡下さい。



折れているスギ①



折れているスギ②



病気の部分

団いやま森の会 活動記録 (第202回)

2012.3.3 野口 功

日 時：2012.3.3 (火) 10時～12時半 天気：晴

参加者：赤石、新井、井口、木村、高鳥、野口、馬場、三嶋、山野辺 9名
里山Q (9期) 青木、小泉、杉山、高橋、橋本 5名

昨年ボランティア講座を修了したみなさん、体験参加され、森の観察後、伐倒作業をしました。

活動報告：溝腐れ病のスギの伐倒（樹高 18.2m、胸高直径 40cm、樹齢 86 年）

- (1) 上の方が曲がっていて、重心が伐倒方向よりやや右に偏っていたので、ロープをつけてチルホールで牽引
- (2) 青木さんが手鋸で受け口を切りましたが、鋸歯が挟まって動かなくなりました。
- (3) 別の手鋸で受け口を小さく切り落とし、鋸歯を抜いてから、やり直し。
- (4) 右側のスギの枝に少しかかりましたが、チルホールで引いて、ほぼ予定の方向に伐倒できました。
- (5) 前回と同じく、切り株をU字カットして伐倒木を載せ、1本橋にしました。

年輪を正確に数えたら 86 年。すぐ隣にあった前回の伐倒木も、おそらく同じだと思われます。40 年目までは無事に成長していましたが、その後溝腐れ病になり、その後は病変部分を大きく巻き込むように成長していました。

最近の 20 年間は年輪幅がとても狭く、あまり成長していないことが見てとれました。

観察報告：

最近、コゲラはすぐ目の前で、平気で木をつづいています。

ヒヨドリ、シジュウカラ、キジバト、シロハラ、コジュケイ、ウグイス（地鳴き）、エナガ
キタテハ（越冬成虫）、オオイヌノフグリ、ヒメオドリコソウ、コハコベ

連絡事項：

- 1) 次回活動日 3月 20 日 (土)
- 2) 3月 10 日 (土) 10時、一起の会植樹祭（八ヶ崎の森）
- 3) 3月 11 日 (日) 15:30 「みどりと花のまちづくり」研究・活動報告 2011 (既報)
千葉大学園芸学部 100 周年記念戸上ヶ丘ホール。18:20～懇親会
(参加希望者は事前に連絡ください)
- 4) 3月 24 日 (土) 10:00 七喜の会 紙敷石みやの森 春の散策会





囲いやま森の会 活動記録（第203回）

2012.3.20 野口 功

日 時：2012.3.20（火）10時～12時 天気：晴

参加者：赤石、新井、高鳥、西澤、野口、馬場、三嶋、山口、山野辺 9名

春のお彼岸を迎え、日当たりは春の暖かさです。木々の芽も大分膨らんできました。森が新緑につつまれるのももうすぐです。

活動報告：

東側の森の中に、「冒険の小道」をつくりました。周りは切り開かず、森の中をくぐって歩ける小道です。これまでの通路とは一味違う逍遙が楽しめます。

森の中にオオバジャノヒゲの群落があったので、そこは少し藪を払いました。

次回にでも、近くのシラカシを伐採して明るくし、冒険の小道の休憩所にしましょう。

森の中に、立派な篠竹が一叢あり、ちょっと笛作りを練習しました。

観察報告：

イベント広場は、一面にオオイヌノフグリ（大犬の陰嚢）が花ざかり。その間に、ヒメオドリコソウ（姫踊り子草）の赤紫色やコハコベの白がアクセントになって、絨毯のようです。

陽が射す所のシュンランが開花。近くのやや日陰のところでも、蕾がいっぱいあります。

ハリギリを伐採した広場には、ジュウニヒトエが芽を出し、蕾をつけていました。

ウグイスが囀りの練習を始めました。

その他、コゲラ、ヒヨドリ、シジュウカラ、シロハラ、コジュケイ、シメ
もう終わりかと思っていたホダ木に、立派なシイタケが出ていました。

連絡事項：

- 1) 次回定例活動日 4月7日（土）
- 2) 倉庫補修の臨時活動 3月29日（木）10時
- 3) 総会 6月2日（土）定例活動後、昼食会
- 4) ステップアップ講座委員会から、囲いやまの森の活動紹介の講座の提案がありました。
7月7日の定例活動日に受けました。
- 5) 森の楽校、森の音楽会は、今年も実施する方向で一起の会と調整します。
- 6) 4月29日（日）21世紀の森と広場で「みどりのフェスティバル」が2年ぶりに開かれます。
スタンプラリーが計画されており、協力をお願いします。
(スタンプポイントの要員)
- 7) ハンモックを一つ作ることにしました。
製作作業は追って連絡。
- 8) オープンフォレストの展示出品は、今の所、新井さん
(竹細工)、池田さん(花の写真)、野口Y(野の花の生け花、ドングリアート)、野口(何か工作物)が出ています。
その他、積極的な応募をお願いします。
- 9) コゲラを囲いやまの森のシンボルとすることにしました。
デザインはサントリーの愛鳥活動(日本の鳥百科)から借用

囲いやま森の会
キャラクター:コゲラ





冒険の小道: 入口・出口



シュンラン: 蕊・開花



花の絨毯: オオイヌノフグリ

大きなシイタケを収穫



竹笛づくり



冒険の小道: 入口・出口



芽吹きを待つ早春の森

囲いやま森の会 活動記録 (第204回)

2012.3.30 野口 功

日 時：2012.3.29 (木) 10時～13時 天気：晴

参加者：赤石、新井、高鳥、野口 4名

活動報告：

初めに造った倉庫の扉上の木材が腐ってきたので補修することにしました。

既存の屋根は庇がないので、その上から波板を張って、少し庇を出し、

雨が掛からないようにしました。

腐っている部分を取り除くと、中にスズメバチが越冬していました。

中の木が湿っているので乾いてから防腐剤を塗って、新しい材を取り付けることにして、

作業は中断しました。

